

TOP X HOPE

企業の未来について *Talk*

田中敏彦(以下田中社長) KGGホールディングスでは、土木、建築、太陽光発電事業、公共インフラの保守・点検、農業と、実に幅広い事業を展開しています。事業の拡大にあわせて毎年、有望な人材を確保してきました。私がいつも採用時に若い人に伝えているのは、今やりたいことがなくてもいい。自分の適性がわからなくて当然だということです。実際に働いてみて、自分がとことんやりたいと思えるものを見つけて欲しいと常々言っています。田中君は2015年度の入社で、今年3年目ですね。最初は総務の配属で、土木をやりたいという希望で2年目からは建設部土木班で頑張ってくれています。3年間KGGホールディングスで働いてみて、入社前と今で仕事に対してどんな思いの変化がありましたか？

田中大(以下田中) 学生時代の私は、就職活動をする時期になっても行きたい業種を決めきれず、企業説明会では漫然といろんな企業を回っていました。それでもなんとなく、若くても責任を持ち、歯車の一部ではなく丸ごと仕事をまかせてもらえる会社に行きたいとは思っていました。ほとんどの企業が事業実績や売上などを中心にPRする中、KGGホールディングスのブースで受けたインパクトは新鮮でした。「うちみたいな中小企業にとって採用する、入社するということは、お互いに結婚するみたいなものなんです。だから私はいくつという場での一人一人との出会いを真剣に、大切に考えています」。私はこの言葉にグッときて、正直、その時の感動で入社を決めました。



入社当初は、言われた仕事をこなすのに精いっぱいでした。中でも公共事業の仕事は作成書類が多く、一つの工事でも書類を揃えるだけでこんなに大変なのかと驚きました。件数をこなすうちに要領も覚え、やがて積算業務をまかしてもらえるようになると、書類から構造物が目に見えてくるようになりました。すると自分でも実際に道路やトンネルを作ってみたいと思うようになっていきました。それで土木班への移動を願い出しました。土木班の配属になってからは、まず先輩の現場監督の下で仕事の基本を習いました。現在、現場監督として一人立ちし二件目の工事を担当しています。一件目は無我夢中で、翌日の段取りをするだけで精いっぱいでしたが、二件目の今は着工から完成まで全体の流れを想定した動きができるようになりました。

田中社長 田中くんが自身でやりたいと思える仕事を見つけてくれて、本当に嬉しいですね。私は仕事というのは、やらされる作業であってはいけません。自分がやっている仕事の意味を理解し、その仕事が誰の役にたつのか、それをする中で誰が喜んでくれるのかを考えた上で、やりたいと思える仕事をして欲しい。KGGホールディングスの一人一人がそういう気持ちで仕事をしていけば、おのずと一体感が生まれます。すると問題が起きれば必ず先輩や仲間が助ける。何かあれば事業の垣根を越えて相談し合い、名前と顔が一致する付き合いができる。このようなKGGホールディングスの一体感は、中小企業ならではの強みだろうと私は思います。

インフラ建設を通じ 人の役に立つ充実感



建設部 土木班
田中 大氏

株式会社KGGホールディングス
代表取締役社長 田中 敏彦氏

田中 はい。若手の私が言うのもおこがましいですが、KGGホールディングスは社長と社員、社員同士の距離感がとても近いと思います。それは軽薄な仲の良さではなく、一個人として安心して相談できる信頼関係のある近さです。お互いを信頼し、仕事を認め合っているからこそ、皆仲がいいんだと実感しています。私も最初は先輩が心配しているような助言をしてきていたのを「細かいな」と思ったこともありましたが、仕事をしていくうちに先輩の言ったとおりだと気づかされました。今は普段から何げなくかけていただく言葉や助言にも思いやりを感じます。

田中社長 嬉しいことをたくさん言ってくれて、今日はおいしいお酒が飲めそうです(笑) 私も若い時は田中くんのように現場でいろんな経験を積み、仕事を通して成長させてもらいました。人間は失敗してこそ、磨かれます。順風の時より逆風の時に、その人の能力や人間性が試される。難しい問題を解決して、初めて能力も人間性も成長するのです。私自身も、今もって日々の仕事を通し



て成長させてもらっていると感じます。田中くんは若く、これから先いろんな試練があると思いますが、ぜひその壁から逃げることなく、正面から正々堂々とぶつかって乗り越えていって欲しいです。たくさん現場経験を積んで、田中くんが成長していくのが楽しみです。

田中 頑張ります。現場ではまだ私が一番若手で、協力会社の方が経験も年齢もずいぶん上というケースが多いです。最初はそういう人達に気持ちよく仕事してもらうには、どう接するのがいいのか考え、遠慮がちになっていた部分がありました。しかし現場経験を積んでいくうちに、思っていること、望むことを相手に正直に伝えることが一番ベストだということがわかりました。それが信頼関係の一番の鍵となるポイントなんですね。

今後は規模の大きな工事を担当してみたいです。将来を見据えて、この度、土木施工管理技士2級の資格を取りました。仕事と勉強との両立は大変でしたが、勉強をやり遂げ、資格を取得できたことは大きな自信になりました。

田中社長 先輩にも、協力会社の人からも田中くんは期待されていますよ。みんな田中くんの今後を楽しみにしていると思います。建築は空中に構造物を建てますが、土木班は地面や川を掘削して構造物を造る仕事です。地面の下がどうなっているか、容易に想像することはできない。そこに土木ならではの難しさがあります。しかし私達が造る道路、トンネル、河川改修などは、どれも地域の人々の暮らしになくてはならない構造物ばかりです。自分が造った道路が、もしかしたら自分の子

ども、孫の代まで残り、世を越えてたくさんの方が利用することもある。責任は大きいけれど、とてもやり甲斐のある仕事だと思います。

今は土木工事の分野でも、日進月歩で技術革新が進んでいます。新しい機材も次々登場しています。田中くんのように若い人は、新しい技術にどんどん触れて欲しい。そしてその経験をふまえてこれからのKGGホールディングスの進むべき道を開拓して欲しいです。私はKGGホールディングスを若い人が引っ張っていく会社にしたと思っています。若い人が元気じゃないと、この業界に発展はありません。具体的な目標としては、社員の平均年齢を20代にしたい。もちろん安全は最優先事項ですが、若いのだから常識にとらわれず、失敗を恐れず新しいことにどんどん挑戦して、新事業を切り開いていって欲しいです。私達が成長することは、協力会社さんの成長にもつながります。正々堂々とした仕事で皆が人間的にも経済的にも成長し、社会に貢献できる幸せを実感して欲しいです。

KGGホールディングス

〒731-5102 広島県広島市佐伯区五日市町石内5998-1
TEL: 082-942-1760
FAX: 082-942-1761
URL: <https://kkg.co.jp/>
●設立年: 2016年(平成28年)
●資本金: 1,000万円
●従業員数: 168名

会社紹介は
62ページを Check!